

「みんなで調べた富山市の自然 2012」報告会のポイント

富山市科学博物館

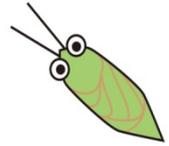
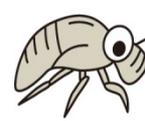
3月9日(土)15:00-16:30

登録参加者数 83名

集積データ数 868件

結果公表 2012年9月から、ホームページで分布図を見ることができるようになっています。内容は随時更新しています。

2012年10月から、館2階ロビーに専用展示コーナーを設置し、分布図等を掲示しています。



各調査種の結果（スクリーンに分布図などを表示して説明します）

セミ（抜け殻・成虫・鳴き声）

県内にいる12種のセミのうち、富山市内とその周囲で9種が確認されました（アブラゼミ、エゾゼミ、エゾハルゼミ、クマゼミ、ツクツクボウシ、ニイニイゼミ、ハルゼミ、ヒグラシ、ミンミンゼミ）。平地・丘陵にいる可能性のあるセミがほぼ全種見つかったこととなります。西日本にいるクマゼミが見つかったことは注目に値します。

アオマツムシ

外来種。富山市内と立山町などから169件の鳴き声が報告され、既に平野部のほぼ全域に生息域を広がっていることが確認できました。

アカミミガメ

平地の自然の池や川、公園の池など10カ所で確認されました。

ニホンジカ

婦中地域で2件確認されました。

ヒガンバナ

1991～1993年の咲き始めは9月14日頃でしたが、暑かった2012年は9月23日でした。報告数のピークも10日程遅かったことがわかりました。

富山市の身近な自然調査 2013 で追加されるもの

ホタル

ゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタル3種の市内分布を調べます。

ソメイヨシノの花を見た日

ソメイヨシノは場所によって微妙に開花期が異なります。これを具体的に明らかにしてみます。クローン植物だからこそできる調査です。

ヒメオドリコソウの広がり

1970年代に富山市に入ってきたと考えられる外来植物ヒメオドリコソウがどこまで広がっているのかを調べます。



富山市の土の色

土にも多様な色があります。富山市各地の土の色を集めて、富山市のソイルカラーと土地の歴史を明らかにしてみましょう。



酸性雨

富山市内各地に降る雨の酸性度をパックテストで同時に調べます。20年前のデータとも比べてみます。定員 30 人。



カエル

田んぼから姿を消しつつある在来のトノサマガエルの実態と一時期増えた外来種ウシガエルの実態を調べます。

スズメ

最近減っている可能性のあるスズメの巣の場所などを調べます。

カッコウ

初夏に渡ってくるカッコウの鳴き声が聞こえる日を調べます。20年前のデータとも比べてみます。

3月下旬から、ソメイヨシノとヒメオドリコソウの調査がはじまります。

調査のタイミングや報告の方法については、登録電子メールでお知らせいたします。

調査の詳細は「富山市の身近な自然調査」のページで公開しています。

次の説明会は、4月27日(土)10:00-12:00に行います。

ところ：当館 多目的学習室

対象：一般、申込不要、無料